



第8期西脇市高齢者安心プラン概要版

西脇市高齢者福祉計画・介護保険事業計画

令和3（2021）年度～令和5（2023）年度

基本理念

高齢者が、住み慣れた地域でともに支え合いながら、自立して、自分らしく安心して暮らしていける社会の実現

施策展開の基本方向

1 高齢者の健康づくり・社会参加を通じた介護予防の推進

- 健康寿命の延伸を図り、効果的に介護予防を進めるためには、「フレイル」の状態にある高齢者等を早期に把握し、適切な介入により要介護状態になることを防ぐことが重要です。
- 住民主体の通いの場や運動教室の参加者を増やすとともに、これまでの疾病予防・重症化防止における個別的な対応のみならず、幅広い高齢者に対して、元気なうちからフレイル予防に着目した専門職によるアプローチ（保健事業と介護予防の一体的な実施）に取り組みます。

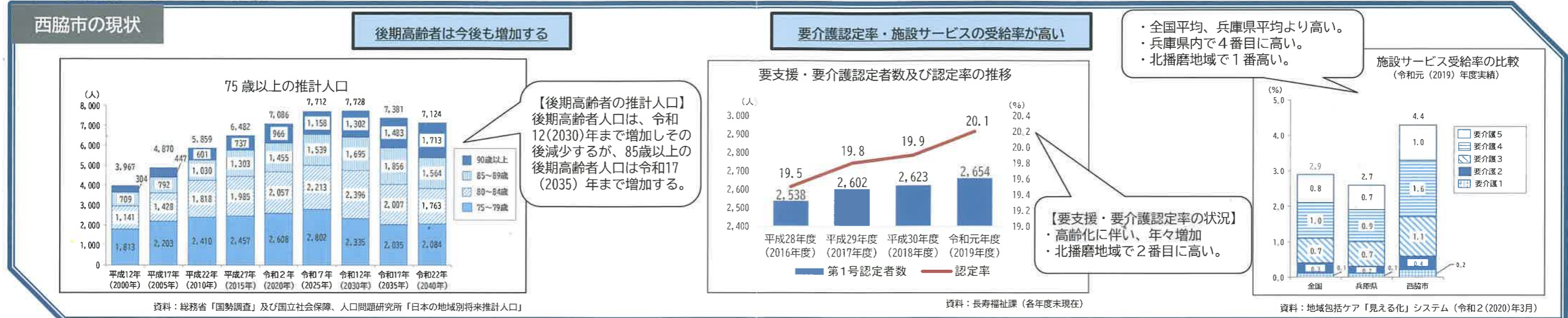
2 地域における包括的な支援体制の推進

- 高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らすことができるよう、地域包括支援センターを地域支援のための体制の中核に据え、地域共生社会の実現に向けて関係機関と連携を図りながら高齢者の自立支援に向けた施策を推進します。
- ひとり暮らし高齢者や認知症の人、その家族・介護者を地域全体で見守り支えるとともに、在宅での看取りの啓発・支援体制の強化を図るために、医療と介護の連携推進に努めます。
- 認知症の早期発見・早期対応のための市民の理解や、「認知症バリアフリー」に取り組み、認知症の人とその家族の視点を重視し、地域全体で見守り、支える地域づくりを推進します。また、認知症の人の増加や高齢者の虐待の顕在化などを踏まえ、これまで以上に高齢者の権利や尊厳を守り、住み慣れた地域で継続して暮らすための支援体制を推進します。
- 生活の基盤となる住まいの確保や生活環境の改善・向上に努めるとともに、災害発生時の要援護者対策や感染拡大防止に向けた取組を推進し、高齢者が自宅や施設などで安心して生活を維持・継続できるよう、関係機関や事業者等との連携を強化します。

3 介護サービスの充実と介護保険制度の円滑な運営

- 介護保険制度を今後も持続可能な制度としていくために、市民の理解と協力が得られるよう普及啓発・情報提供に努めます。
- これまで以上に介護給付適正化事業に積極的に取り組み、適正な要支援・要介護認定や真に必要なとする過不足のない介護サービス提供体制の整備を図り、介護保険財政の一層の健全性の確保と制度の安定運営に努めるとともに、介護人材の確保と定着、育成に向けた取組を事業者と連携し総合的に推進します。

【本市の高齢者を取り巻く現状・課題、対応の方向性】



現状からみえる課題

- ◇要介護状態に至らないための健康に資する施策の必要性
 - ・後期高齢者の増加に伴い要介護認定者が増加
 - ・介護予防のための通いの場への参加は低調で、認知機能の低下、運動器の機能低下及び転倒リスクのある人が第7期計画時に比べ増加
 - ・後期高齢者の医療費は、同じ規模の市町より高く、筋・骨格系、骨折などの医療費が高い状況にあり、要介護認定のある後期高齢者は糖尿病や高血圧症の有病率が高い。
 - ・新規の要介護認定で多い申請理由は、要支援者が「下肢筋力低下」、要介護1・2が「認知症」である。
- ◇要介護認定の平準化及び適正化に資する取組の必要性
 - ・調整済み認定率は、全国と同水準であるが、要介護1・2の割合が高い。
- ◇在宅介護の限界点の向上の必要性
 - ・ひとり暮らし高齢者が増加
 - ・介護保険サービスの種別では、特に施設サービスの受給率が高い。
 - ・要介護者も介護者も高齢化している。
 - ・要介護3以上の要介護者を介護している介護者は、施設入所を検討する割合が高い。
 - ・介護者が不安を感じる介護は、排せつの世話と認知症への対応が多い。
 - ・要介護者が今後希望する生活の場所は、「自宅」(71.2%)が最も多い。
 - ・ケアマネジャーは、「訪問介護」、「短期入所生活介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」のサービスが不足していると感じている。
 - ・複合化・複雑化した支援ニーズを持つ世帯が増加
- ◇高齢者の地域での生活支援の必要性
 - ・ケアマネジャーは、「ごみ出し」、「外出時にサポートが受けられる外出支援サービス」、「移動販売・食材配達」を希望する人が多いと感じている。
 - ・生活では、自動車による移動が多いため、免許を返納した場合、外出の機会が減少する可能性がある。

対応策

- ◇健康づくり・疾病対策の強化
- ◇フレイル状態の早期発見と予防対策の強化
- ◇認定調査項目別の選択状況の分析
- ◇認定調査員の資質向上
- ◇地域ケア会議・包括的な支援体制の強化
- ◇要介護者の意思を尊重したケアマネジメントの支援
- ◇在宅介護が継続できるサービス基盤の整備
- ◇認知症の早期発見・早期対応
- ◇終末期の医療・介護の体制づくり
- ◇ニーズに対応した生活支援の充実
- ◇住民主体の支え合いの仕組みづくり

取組施策

- 1 高齢者の健康づくり・社会参加を通じた介護予防の推進
 - (1) 健康づくりの推進
 - (2) 生きがい対策の推進
 - (3) 社会参加・交流の促進

《拡充》

 - ・健幸交流推進事業
 - ・専門職によるフレイル予防活動（保健事業と介護予防の一体的な実施）
- 2 地域における包括的な支援体制の推進
 - (1) 包括的な地域ケア体制の推進
 - (2) 在宅生活を支えるサービスの充実
 - (3) 在宅医療・介護連携の推進
 - (4) 認知症施策の推進
 - (5) 高齢者の尊厳への配慮と権利擁護の推進
 - (6) 高齢者の安心な住まいの確保
 - (7) 安全・安心なまちづくり

《新規》

 - ・重層的支援体制整備事業
 - ・福祉避難所の運営
 - ・デマンド型交通の運行
 - ・介護事業所の避難体制の確保
 - ・ごみ出し支援事業
 - ・感染症対策

《拡充》

 - ・西脇市コミュニティバスの運行
 - ・認知症サポーターの養成講座及び活動支援
 - ・緊急支援・救助体制の推進
- 3 介護サービスの充実と介護保険制度の円滑な運営
 - (1) 介護保険サービスの基盤整備
 - (2) 介護保険制度の円滑な運営
 - (3) 介護人材の確保

《拡充》

 - ・地域密着型サービスの充実
 - ・住宅改修等の適正化事業

【第8期計画の事業目標】

1 高齢者の健康づくり・社会参加を通じた介護予防の推進

項目	単位	実績見込	目標値		
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
運動教室の新規参加者数	人	120	120	120	120
いきいきサロン実施か所数	か所	62	66	67	68
高齢者の通いの場の参加率	%	3.6	4.5	5.4	6.3
生活支援サポーター活動	登録人数(人)	75	80	85	90
	活動回数(回)	550	600	650	700

2 地域における包括的な支援体制の推進

項目	単位	実績見込	目標値		
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
認知症初期集中支援チーム員会議での検討数	件数	15	24	24	24
認知症の人の地域ケア会議での検討数	件数	6	20	20	20

3 介護サービスの充実と介護保険制度の円滑な運営

項目	単位	実績見込	目標値		
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
ケアプラン点検の実施数	件	50	50	50	50

【第8期計画の成果目標】

1 主観的健康感

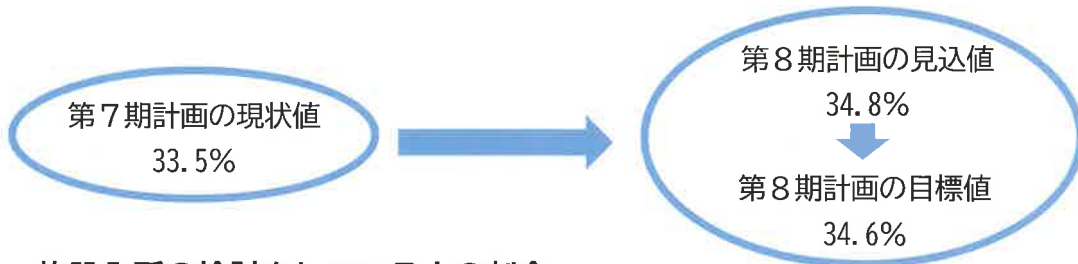
「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」で健康状態が「とてもよい」「まあよい」と答えた人の割合



2 後期高齢者の要介護認定率

75歳以上の人口に対する要介護認定者（要支援・要介護）の割合

※第7期計画は、介護保険事業状況報告の令和2（2020）年4月分の認定率、第8期計画は令和5（2023）年4月分の認定率とします。なお、認定率の見込値は、後期高齢者の人口推計からみた予測値です。



3 施設入所の検討をしている人の割合

「在宅介護実態調査」で施設入所を「申請済み」「検討中」と答えた人の割合

